



| | |
|------------|---|
| 事業名 | ～みんなで支え合って生きる道を選べる港区へ～ 「港区自殺対策推進計画(改定版)(素案)」の区民意見を募集します |
|------------|---|

| | | | |
|----------------|---|------------|---|
| ここがポイント | ▶自殺対策推進事業を総合的に推進し、「みんなで支え合って、生きる道を選べる港区」を目指します。 ▶特に、若者や働き世代への支援、相談先の周知強化に対する事業に重点的に取り組みます。 | 事業費 | — |
|----------------|---|------------|---|

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 概要 | <p>区では国の動きに先行して平成 26（2014）年9月に、平成 35（2023）年度までの 10 年間で計画期間とする「港区自殺対策推進計画」を策定し、様々な自殺対策に取り組んできました。しかし、平成 28（2016）年の自殺対策基本法の改正により、区市町村は自殺総合対策大綱及び都道府県自殺対策計画を踏まえるとともに、地域の実情を勘案し、自殺対策についての計画を策定することが義務化されたことを受け、今回計画を見直し、今後5年の施策の具体的な取り組みや方向性を示しました。</p> <p style="text-align: center;">【意見募集】平成 30 年 12 月 3 日～平成 31 年 1 月 4 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【計画における自殺対策の基本的な考え方】</p> <p>(1)「生きる支援」として自殺対策を推進 (2) 港区の地域特性を踏まえ、戦略的な対策を推進</p> <p>【統計データから見た区の自殺の特徴】</p> <p>①女性と若年層が多い ②仕事をしている人や学生が多い ③健康問題や経済・生活問題、家庭問題が原因の人が多く ④男性は、被雇用者が多い。女性は、学生や被雇用者等が多く、50 代以上では主婦が多い</p> <p>【区政モニターアンケートから得られた課題】</p> <p>①相談機関や自殺に関する区の広報活動が知られていない ②誰もが悩みを相談される可能性はあるがゲートキーパーの役割は知られていない ③若年層への自殺対策が求められている</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【これまでの取組による成果】</p> <p>▶保健福祉分野以外の関係機関との連携の構築 ▶自殺未遂者や自死遺族への支援事業の開始と民間団体との連携強化</p> <p>【重点的に取り組む視点】</p> <p>① 子どもや若者、女性を対象とした支援 ② 働き盛り世代を対象とした支援 ③ 相談先の周知の強化 ④ ゲートキーパーの役割の周知の強化</p> </div> </div> <p>【自殺対策推進事業】 104 事業(内再掲 7 事業) (別紙参照) 前回計画の 5 のビジョン、20 のミッションの考え方で整理 自殺対策は「生きる支援」であるため、すべての事業を総合的に実施</p> <p>【主な新規事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インターネット検索連動広告による相談窓口の周知 ●ゲートキーパー・リーダー養成とリーダーによる周知の実施 ●アルコール依存症家族講座による家族支援 ●子どもの SOS の出し方に関する教育の実施 ●大学や私立学校を対象とした SOS の出し方に関する講座 ●職場のメンタルヘルス講演会 | | |
| | <p>★計画の目指す将来像★ 「みんなで支え合って、生きる道を選べる港区」の実現</p> <p>平成 35（2023）年までに自殺死亡率 7.31 を目指す。 ※平成 25 年（14.6）から 50%減 ※自殺死亡率とは人口 10 万人当たりの自殺死亡者数</p> | | |

| | | | |
|------------|----|-------------------|--|
| 問合せ | 課長 | 健康推進課 近藤 | |
| | ☎ | 03-3455-4427 (直通) | |
| | 係長 | 健康推進課保健指導調整担当 新井 | |
| | ☎ | 03-6400-0084 (直通) | |